

# 灯



台湾嘉義玉山ロータリークラブの創立10周年に招かれた帰途、台北市二二八記念館を初めて訪問した。

台湾では台湾在来の本省人と、第2次大戦直後中国大陸から入ってきた外省人との間には対立

の歴史があり、1947年2月28日市八の外省人による本省人虐殺事件は長

台北二二八記念館



草野 義輔

る。

特に印象に残ったのは日本語の巧みな高齢のガイドの説明で、外省人の暴虐さを繰り返し訴え、日本の統治時代がなければ今の台湾の繁栄はなかった、と懸命に語る姿には感動さえ覚えた。

先般NHKの「JAPAN、アジアの一等国」という番組では、日本は台湾では支配者として君臨し、台湾人を日本人にするという同化政策をとった。台湾の人は表向き親日的ではあるが、実際は大変な恨みを持っている、という視点に立った番組編集だったが、多くの批判を浴びているとのこと。

念館に冠していることで事件の重さが伝わってくる。記念館のパンフレットを見ると、いまだに真相は闇の中で台湾現代史上空白のページ、と記されている。

私も疑問を感じながら視聴したが、記念館ガイドの説明をじかに聞いて、番組に抱いた違和感は正しかった、と確信した。(昭和学園高校理事長・日田市)